

News Letter

Vol.20 2025.11.4



イベント情報

発行：

帯広畜産大学 産学連携センター



プラットフォームの参画状況

参画機関数は 102社

(会員人数 123名) です！

産 88社

学 3機関

官 7機関

金 4機関

*プラットフォームHPは

[こちら](#)

「ビジネスEXPO」に出展します！

11月に開催される「ビジネス EXPO」に北海道国立大学機構として今回も出展します。

【日付】11月6日(木)・7日(金)

【会場】アクセスサッポロ (札幌市)

*詳細は[こちら](#)



(昨年度の出展ブースの様子)

産学官金連携交流会を開催しました！

9月29日(月)に、令和7年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会“大人のオープンキャンパス”を「十勝における農産物の高付加価値化」をテーマに開催しました。

第1部の研究室訪問には10名、第2部の講演会には計141名(会場91名とオンライン50名)の方にご参加いただきました。*詳細は[こちら](#)



(敷島製パン(株)・山田氏による講演の様子)

「スクラム十勝」を開催しました！

10月29日(水)に、とかちプラザ(帯広市)において「スクラム十勝シンポジウム2025」を開催しました。「農業の省力化とスマート技術」をテーマに、計172名(会場77名とオンライン95名)の方にご参加いただきました。

*開催概要は[こちら](#)



公募・セミナー情報

● (公募) 令和7年度 帯広畜産大学 地域共創ファンド

帯広畜産大学地域共創ファンドは、北海道の産業振興、道内企業等の課題解決や人材育成等のため、プラットフォーム参画機関と大学との連携による研究開発コンソーシアムの構築や、共同研究の推進について支援するものです。(共同研究加速型:最大60万円/件)

【申込締切】11月21日(金) (*詳細は[こちら](#))

● 農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム (11月の部分開講)

経営改善に役立つ労務管理 (全2回)

【日時など】第1回 11月19日(水)、第2回 11月26日(水)、全て18:00~20:00 (受講料:16,000円)

【申込締切】11月5日(水) (*詳細は[こちら](#))

● 北海道国立大学機構 教育イノベーションセンター

HACCP・食品安全管理プログラム「札幌セミナー」

本プログラムでは、企業の事例を基にHACCPの基礎を学ぶ内容となっています。

【日時など】12月2日(火) 13:30~16:00 (無料 | 会場+オンラインほか)

【申込締切】11月14日(金) (*詳細は[こちら](#))

● フードバレーとかち人材育成事業

特別講習「農業関連セミナー第3弾」

講座①: HACCP導入・管理でのハード面への活用事例

講座②: 6次産業化の展開と持続可能な農業経営

【日時など】①12月5日(金) 18:00~19:30 (無料)

②12月18日(木) 18:00~19:30 (無料)

【申込締切】11月21日(金) (*詳細は[こちら](#))

● ミルク&チーズコンソーシアム

チーズ製造のための乳酸菌講習会

乳酸菌に関する知識や基礎的な取り扱いについて理解を深めることを目的とし、チーズ製造のための乳酸菌講習会を実施します。

【日時など】12月9日(火)~10日(水) (受講料:20,000円・先着10名)

【申込締切】11月7日(金) (*詳細は[こちら](#))

お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。



発行:

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室

(担当: 東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail: crcenter@obihiro.ac.jp

TEL : 0155-49-5771

畜大研究情報

(論文発表) AI技術でウマの採食行動を高精度に判別

— 顎下に装着した加速度センサーと深層学習モデルを活用 —

環境農学研究部門 准教授 川村健介

帯広畜産大学神谷 詩 (在籍時: 畜産学部)、垣内香澄 (大学院畜産学研究科)、川村健介 准教授 (環境農学研究部門) らの研究グループは、北海道大学大学院農学研究院および JRA日高育成牧場生産育成研究室との共同研究として、深層学習技術を用いて放牧地で採食するウマの行動を高精度に自動分類する方法を開発しました。

* 詳しくは [プレス発表資料](#) をご覧ください。